

宣教会議 2007

>>>>> 5.21～22 市ヶ谷センター



「宣教会義 2007」が、5 月 21 日 22 日に市ヶ谷センターで行われました。この会議は各教区の伝道・宣教部長が集まり、宣教の進展をはかる目的で開かれました。また、各教区の伝道・宣教部長と宣教室がチームとして知恵と祈りをあわせる時を持つことの大切さを知ること共有しました。

今回の会議は宣教室スタッフが「会議の持ち方」の研修を専門家から受け、会議そのものも研修のひとつとして設定されました。会議の冒頭では、2つの会議内容を参加者全員でどちらかを自分達で選択する

方法をとりました。

Aプラン「教勢アップという目標に対応策を練る」、Bプラン「私たち伝道チームが何にどう取り組むことが必要かを検討する」というものでした。参加者は Bプランを選択しました。

会議内容としては、KJ法をもちいたワークショップを中心に、1.「過去宣教方策等の分析」。2「伝道部長として期待されていること・ニードを知る」。3「組織確認と組織作り（全体をみる）」をまとめました。また「新来会者の目でみた教会」をテーマに八木谷涼子氏（教会ルポライター）に講演してもらい、もう一度自分たちの教会を見つめなおす時を持ちました。

最終日には、参加者全員で「宣教会議 2007 からの提言」をまとめました。その提言は次のとおりです。

（4 ページに続く）

バラの降る教会

アワーミッションレポート 東京教会

5 月の聖霊降臨祭、東京教会は「バラの降る教会」となりました。教会内はもちろんのこと、教会の外に設置された二つの掲示板も、ウェブサイトもバラ一色。外部からの問い合わせも数多く、当日は 192 名もの方が集まりました。そこで、この計画の仕掛け人である関野牧師にお話を伺いました。

—「ペンテコステにバラを」というアイディアはいつ思いついたのですか？

クリスマスやイースターには具体的なイメージできるもの——例えば、飼い葉桶や空虚な墓等——があるものの、ペンテコステにはそれが無いと感じていたからです。せっかくの聖霊降臨祭に目に見えるものを通して聖霊を体験して欲しいと強く願ったのです。具体的なきっかけは、世界各地ではペンテコステの様々な取り組みがあり、その中でもイタリアで聖霊のシンボルとしてバラをまくという記述に目が留まり、それを実施しようと思い立ったことがあげられます。具体的にどのようにするのか、そこには記述がありませんでしたが、子どもたちに頼もうということだけはイメージできました。

—実施していかがでしたか？

昨年ペンテコステで初めて実施して印象的だったのが、みんなが笑顔だったことです。何よりも、子どもたちがバラを撒いたのがよかったと思います。また、自分の手もとに花びらが残ることも笑顔の要因であったと思います。礼拝後、男性は胸ポケットに挿したり、女性は髪に挿したりとそれぞれに喜びを表していたのが印象的でした。

教会の方の声としては、礼拝後の祝会において司会をされた信徒が「子どもたちが撒いた瞬間、聖霊が降って



きたようだった」というものがあります。

—退場のときにバラを撒かれましたね。

東京教会では十字架と 2 本のろうそくを持って退堂していますが、その時にバラを撒くことによって、十字架とろうそくから聖霊が降る様子を表現できると思いました。また、キリストが去って行ったあと、聖霊がきたということも考えています。

—今後の抱負をお聞かせください。

この日だけというのは、単なるイベントになるので、バラを押し花にして、来ることの出来ない方々に送る準備をしています。さらに、今後バラと言えば東京教会となって欲しいと願っています。また、ペンテコステ以外にも、視覚的な体験ができるといいと考えています。

※この礼拝の様子は jelc TV で御覧いただけます。
URL>>http://jelc.tv/



2007 年
7 月
No.715



■発行所■

〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631

日本福音ルーテル教会事務局広報室

■振替口座■

00190-7-71734

■ウェブサイト■

http://www.jelc.or.jp

■E-mail■

jelc@jelc.or.jp

■発行人■

佐藤 和宏 koho01@jelc.or.jp

■印刷人■

精文堂印刷株式会社（定価 1 部 40 円）

CONTENTS

目次

- 1 | 宣教会議 2007
アワーミッションレポート「東京教会」
『無い袖を振る神様』
- 2 | 牧師の声・信徒の声
東洋と西洋の対話④
- 3 | 信仰の学び、養いを生涯続ける④
神学生寮の思い出
クリスチャンのライフカレンダー
LAOS 講座
- 4 | 統一協会に関する日韓フォーラム
宣教会議 2007 (1 面の続き)
LCM 会議、エイズ公開講演会
常議員会、部キ連総会
子どもキャンプ、教師志願者募集
公告、住所変更、他

福音版

- 1 | バイブルメッセージ
手紙の向こうにある想い
- 2 | 大人を育てる絵本からのメッセージ
HeQi Art 聖書物語
たろこまま「いのちを語る」



休日のことでした。テレビ以外、何もすることのない子どもたち。ついに長女に「他にすることは無いのか」とケンカに。思春期で力をつけてきた娘、迫力が違います。成長を喜びながら、負けまいと必死です。吹っ飛ばされそうになりました。それを見て三女がひとこと。「お父さんお姉ちゃんも、ケンカは心でしなさい」。それって、どんな意味？すると「わからん。イエス様が夢でそういったんじや」。「昨日、イエス様が夢で『お父さんお母さんを大切にしなさい。ケンカしたらいけない。心でケンカしなさい。仲良く』といったんじや」と言うのです。「心でケンカしなさい」とは何でしょう。心でケンカできるのでしょうか？それができるのです。だって神様だって無い袖を振るように、無から有を生み出していけるからです。自分を見つめて悔い改め、人と接しなさいということかも。ケンカが見えてくるときにはゆるし合うことは見えませんが、ケンカが見えなくなったとき、ゆるしは見えてきます。無い袖を振る神様は心のなかで愛を教えてください。

（柿のたね）

<信徒の声> 教会の宝石を捜して

北海道特別教区

帯広教会・池田伝道所 信徒

ひろべ か おり
広部 カオリ



私の母は60歳を過ぎ、洗礼を受けました。私の家に時々遊びに来ると、日曜日毎に近くの池田教会に私の娘を連れて行っていました。娘

広部さんと教会とのつながり、洗礼までの歩みを教えてください

も20歳を過ぎて洗礼を受け、クリスチャンホームを築き、孫たちも受洗し、小樽で教会に通っています。私自身の洗礼は夫が天に召された後のことです。夫が12年前の4月、病気で入院し、医師に「もう長くはない」と言われた時、駆けつけた娘は教会の牧師と相談し、その夜、自分で洗礼を授けてくれました。娘から洗礼を受けた夫は数時間後、安らかに天に召されていきました。納骨も終わった頃、池田教会に行くようになり、ある時、讃美歌を聴

いてると、生前夫が口ずさんでいた曲だと気づきました。驚きました。野幌の酪農学園で北欧の教会の信仰に出会っていたのでしょうか。神さまの不思議なみわざです。そして、私自身も12月に洗礼を受け、教会の皆さまの交わりの中で歩みだしました。順番は前後しましたが、四代につながる信仰を与えてくださった神さまに感謝しています。

先日、礼拝で「証し」をしていただきましたがどうでしたか？

始めに依頼をされた時は困った、どうしようと思いましたが、でも、いつかはやるものだと思いますし、今が神さまの備えられた時だと思い、改めて自分の信仰生活を振り返ってみました。準備をする時に、池田、帯広、釧路の皆さんと交わりの中で歩んでいくことが一番です。そして、聖書を読み、祈り、共にいてくださる主に委ねて歩んでいきたいと思えます。また、五代目に信仰が伝えられるよう期待しています。

これからの抱負を教えてください

礼拝の中で恵みをいただき、日々を大切に、池田、帯広、釧路の皆さんと交わりの中で歩んでいくことが一番です。そして、聖書を読み、祈り、共にいてくださる主に委ねて歩んでいきたいと思えます。また、五代目に信仰が伝えられるよう期待しています。

牧師の声・信徒の声

九州の田舎に育った私が、教会と出合い、聖書に触れたのは高校生ときである。道端の小さな看板が目についた。その教会を訪れると、玄関にはルターの紋章があった。しかし、門は閉ざされ、人の気配はない。後で分かったことだが、それは車庫の扉だった。教会は車庫の上に建てられていた。小さな教会だった。きれいに掃除され、一輪の花が飾ってあった。そして、これが私にとつて教会の

原風景となった。当時、私は漠然とした不安を感じていた。勉強や将来への不安、信仰の問題といったことではない。内から湧き上がる言い知れぬ不安であった。もしかしらここに答えがあるかもしれない。そうした漠然とした期待をもって教会に通い続けた。

その後、就職、東海ルーテル聖書学院、ルーテル神学大学へとすすんだ。この間も自分探しの旅は続いた。あるセミナーに参

加したとき、期せずしてこれまでの自分の歩みを振り返る機会が与えられた。セミナー会場は人里離れた山の中で一週間続いた。時間はたつぷりあった。神は不安の真の原因を見せてくださった。神と私の間にある壁であった。その壁は隣人との間にも、私自身との間にもあった。私はその壁に守られながら暮らしていたのである。神はお前たちの悪が神とお前たちとの間を隔てさせているの

だ。「イザヤ書59章2節とのみ言葉を示してください。」イザヤのようにセラフイムを見ることができなかったが、神はその壁を取り除いてくださった。私は初めて神との語らい、自身との語らいを味わった。その日を境に、祈りは心を開くこととなり、兄弟との交わりは喜びのとき、み言葉を語ることは喜びとなった。私は、自分の力で不安の源を探り、罪に気づき、克服することはできない。神は憐れみをかけて下さり、自分探しの旅に終止符を打ってくださった。今も時として罪は頭をもたげ、教会の方々、家族の者へ辛い思いをさせていることを知っている。しかし、神は人のうちに良き願いを起こし、完成へと導いてくださる。



あなたがたの中で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までに、その業を成し遂げてくださると、わたしは確信しています

フィリピの信徒への手紙 1章6節

東教区 横須賀教会・横浜教会 牧師
ひがし かずはる
東 和春

<牧師の声> 私の愛唱聖句

第4回 私達は信仰を告白します。(信条 Hymn of the Day)

「主は一人、信仰は一つ、洗礼は一つ、すべてのものの父である神は唯一であって、すべてのものの上にあり、すべてのものを通して働き、すべてのものの内におられます」(エフェソの信徒への手紙 4章5～6節)

平岡(以下「平」): 私達は私達の信仰を使徒信条、ニケア信条によって告白します。

Lathrop(以下「L」): 使徒信条そしてニケア信条共に、洗礼を受け新しくキリスト者となる人々に与えられる教えの中に含まれています。だから日曜日、これらの信条によって信仰告白をすることは私達自身の洗礼を思い起こす助けになるでしょう。ニケア信条は西方教会と東方教会の多くの教会に於いて用いられている古いテキストであり、また、使徒信条は西方教会において特に知られ、ルターの小教理問答書で重要な位置を占めています。

平: 私たちは教会の信仰を告白することによって、民の集まりが、三位一体の神である唯一の真のぶどうの木に連なる枝であることを明らかにします。(エフェソ4章5節)

L: 会衆は聖書朗読と説教によって神の言葉を聞き、御言葉は真のぶどうの木、神の臨在恵みへと再び私達を引き寄せます。御言葉は私達に神への信仰を与えます。

平: そして、その時、御言葉は私達を信仰告白へと導くのです。

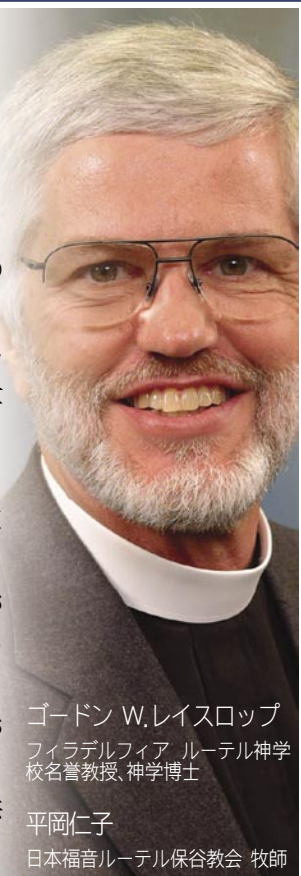
L: 私達は世界中のキリスト者と共に信仰を信条によって告白し、「The Hymn of the Day」によって歌います。「The Hymn of the Day」は現代的な言葉による私達の信仰告白と言えます。

平: 神道の神々は御神木を拠り所としその存在を示します。しかし、ぶどうの木である三位一体の神は世界の創造者であり、全ての被造物は神の愛の拠り所・その根拠です。

L: 事実、私達が告白する神もまた木にご自分を現しました。しかしそれは十字架でした。この木によって、神は私達にどれほどこの世が愛されているかをお示しになったのです。真の神はぶどうの木に流れる命と恵みの中へ私達を集め、この愛を自由に与え、この愛において隣人に仕えるよう私達を招いておられます。だから私達は十字架によって示されたこの神の愛への応答に於いて、私達の信仰をここで共に告白するのです。



東洋と西洋の対話
ルーテル教会の礼拝



ゴードン W. レイスロップ
フィラデルフィア ルーテル神学
校名誉教授、神学博士

平岡仁子
日本福音ルーテル保谷教会 牧師

第2回「統一協会に関する日韓教会フォーラム」報告

標記の会合が韓国・麗水市(釜山から約200kmの海岸沿いの30万都市)で4月18日〜19日に開かれ、福音ルーテルから私平岡が、東教区社会部の支援で出席しました。日本からはNCC加盟教派の代表とカトリック中央協議会、および弁護士、家族の会、総勢21名。韓国側は100名を越える参加で、この問題の深刻さが伺える会議となりました。

2012年開催予定の麗水万博海洋博に合わせ、統一協会が広大な用地を買収していることについて、韓国教会の憂慮が協議の内容でした。万博会場の2万6000坪に対して、統一協会の買収用地は300万坪なのです。写真は、その買収地(山の反対側)も、東京・武蔵野市全域に匹敵です。

このお金の出所が問題なのです。日本側も統一協会対



の進展が進むように働く。今後、教区伝道・宣教師長は、各教会・教区・全体教会という広がりの中で、それぞれ同じミッションを持ち、連携して仕事に当たるチームである。

この会議を通して、各教区伝道・宣教師長はチームで働くことの大切さを確認しました。会議そのものは、和気あいあいとしたものでした。とくに部長として、これから何をどうすればよいのかという苦悩を共有できたことは、これからの働きのために力づけられました。

常議員会

6月11日〜13日にかけて、ルーテル市ヶ谷センターにて、第22総会期第4回常議員会が開催されました。

組織の改革に向けて、教区ごとに進捗が具体的に報告されました。また、各教会の適正な種別の確認も協議されました。



部連第24回総会

5月28日、日本福音ルーテル天王寺教会を会場にして、部連問題に取り組むキリスト教連帯会議(部連)第24回総会が行われ、JELCからは徳弘浩隆事務局長が出席し、全国のキリスト教各派から32人の担当者が参加しました。

会議では2006年度活動報告、2007年度活動計画案などが話し合われました。

午後には「教会の課題としての人権問題」を主題とし、日本基督教団神奈川教区巡回教師の関田寛雄さんによる記念講演がありました。

日本ルーテル教会教師志願者募集

2007年度の日本福音ルーテル教会教師試験を先により行いますので、志願者は、必要事項を添付して、本教会事務局にお申込みください。

一、提出書類

1. 教師志願書
2. 履歴書
3. 教職簿本
4. 成年被後見人または被保佐人として登記されていないことの証明書
5. 所属教会牧師の推薦書
6. 神学校卒業(見込み)証明書及び推薦書

二、提出期限

2007年9月21日(金)午後5時

三、提出先

日本福音ルーテル教会 常議員会会長 山之内正俊(但し、書類の送付先は、日本福音ルーテル教会事務局とする)

四、試験日及び試験内容については、本人に直接連絡する

以上

山之内 正俊

公告

この度左記の行為を致しますので、宗教法人法第二十三条の規定に基づき公告致します。

二〇〇七年七月二五日

宗教法人

日本福音ルーテル教会

代表役員 山之内 正俊

信徒利害関係人 各位

記

被包括法人 日本福音ルーテル日田

土地購入の件

理由 教会建築用地として購入

物件

所在 大分県日田市三本松丁目番地 七八九番地一

地目 宅地

地積 七八・四三㎡

以上

(1ページ続き)

A. 教区伝道・宣教師長は、各教会・教区・全体教会という広がりの中で、それぞれ同じミッションを持ち、連携して仕事に当たるチームである。

B. 教区伝道・宣教師長は、各教会・教区・全体教会という広がりの中で、それぞれ同じミッションを持ち、連携して仕事に当たるチームである。

C. それを実現するために、訪ねる「わが家」に「反映する」情報共有の効率化への対策の実現。

D. これを通して生まれてくること。各教会、教区、全体教会が勇気付けられ、信徒が生かされ、育てられ、伝道の進展が進むように働く。今後、教区伝道・宣教師長は、各教会・教区・全体教会という広がりの中で、それぞれ同じミッションを持ち、連携して仕事に当たるチームである。

LCM会議

5月29日から30日にかけてLCM会議が開催されました。LCMとは Lutheran Cooperative Mission

の進展が進むように働く。今後、教区伝道・宣教師長は、各教会・教区・全体教会という広がりの中で、それぞれ同じミッションを持ち、連携して仕事に当たるチームである。



講演二人の若手牧師 後藤由起牧師と関野和寛牧師がビデオを交えながら新しい取り組みを紹介してくれました。

アメリカのルーテル教会は昨年発行した新式文と讃美歌について発表し、参加者の注目を集めました。今後のJELCの式文や讃美歌編集にも有益な会議でした。

エイズ公開講演会

「エイズの今を知ろう」との主題で去る5月30日にルーテル学院大学で公開講演会が開かれた。100名近くの学生たちが熱心に聞き入った。

これはルーテル世界連盟のHIV/エイズへの世界的な取り組みの一環。日本ではJELCがNRKとルーテル諸学校の協力を求めながら青少年への教育プログラムを東京と熊本で進めている。この講演会では、江藤教授の「聖書と性」の後、生島嗣氏によるHIV



V/エイズに関する基礎知識と患者や家族の声を紹介され、2人の青年ボランティアの率直な体験談が分かち合われた。

大学生たちは「これまで他人事だったのが、とても身近に感じたい」「真剣に考えていきたい」などと反応。この問題に取り組むサークルも誕生した。

ルーテル 子どもキャンプ

第9回ルーテル子どもキャンプは、8月7日〜9日にかけて、ルーテル学院大学にて開催されます。実行委員会では参加者及びスタッフを募集しています。どうぞ、子どもたちを送り出してください。



第11回全国青年修養会

9月22日〜24日

かけて、箱崎教会等を会場に開催されます。テーマは「創造」、主題講演は石居基夫牧師です。



訃報

松原清先生(引退牧師)が、6月12日(火)午後2時55分頃、召天されました(享年68)。

謹んで哀悼の意を表し、お知らせいたします。

通夜・告別式は6月13日、葬儀は6月14日に日本福音ルーテル大阪教会にて執り行われました。喪主は悦子夫人。

メールアドレスの変更のお知らせ

永吉秀人先生 tenno-ji@y9.dion.ne.jp
重野信之先生 n-shigeno@kmf.biglobe.ne.jp
クーシランタ先生 kuusiranta@yahoo.co.jp